

令和2年度 指定管理者年度評価シート

1 公の施設の基本情報

施設名称	千葉市民会館	千葉市文化センター
条例上の設置目的	千葉市民会館設置管理条例（抄） 第1条 本市は、市民の文化の向上を図り、福祉の増進に寄与するため、次のとおり市民会館を設置する。	千葉市文化センター設置管理条例（抄） 第1条 本市は、市民の文化の向上を図り、福祉の増進に寄与するため、次のとおり文化センターを設置する。
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	当該施設における実演芸術の鑑賞を通じて、文化に対する市民の興味を喚起し、さらに理解を深めるとともに、文化団体等の大規模な発表の場として、市民の文化芸術活動を支援していくこと。	長期的な視点で市民の文化芸術活動への支援や特色のある創造的な事業を行うとともに、市内の文化芸術に関する情報や人材が集まり、広く交流・発信していく場として、市の文化振興の拠点の役割を果たすこと。
ミッション (施設の社会的使命や役割)	【文化芸術鑑賞の中心的役割】 ・創造性、企画性の高い実演芸術の公演の提供 ・特色のある実演芸術の公演の提供 ・利用者等のニーズに対応した実演芸術の公演の提供 ・文化芸術活動の大規模な発表の場 ・継続的な施設利用を可能とするための老朽化した施設の適切な維持管理	【市の文化振興の拠点】 ・長期継続的な取組みによる実演芸術の創造 ・市の文化を担う人材の育成 ・文化芸術の情報集積・発信、交流基地
制度導入により見込まれる効果	指定管理者制度の導入による市民サービスの向上により、さらに多くの市民に利用してもらおうという効果を見込んでいる。 市民会館では、突発的な修繕への柔軟な対応等老朽化した施設の適切な管理を、文化センターでは、市の文化振興の拠点施設としての役割の発揮をそれぞれ期待している。	
成果指標※	① 施設利用者数(楽屋除く) ② 使用件数(楽屋除く) ③ 実演芸術の公演本数 ④ 施設稼働率(楽屋除く) ⑤ 大ホール稼働率 ⑥ 予防的修繕の未実施による施設利用不可能日数	① 使用件数(楽屋除く) ② 文化振興の拠点施設としての使用件数(楽屋除く) ③ 施設稼働率(楽屋除く) ④ ホール稼働率
数値目標※	① 355,000人以上 ② 4,400件以上 ③ 24本以上(月2本以上目安) ④ 59%以上 ⑤ 平日60%以上、土日祝78%以上 ⑥ 年間0日	① 4,100件以上 ② 平成32年度10%増(平成27年度比) ③ 45%以上 ④ 平日44%以上、土日祝76%以上
所管課	市民局 生活文化スポーツ部 文化振興課	

※ 成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	公益財団法人 千葉市文化振興財団
主たる事業所の所在地 (代表団体)	千葉県千葉市中央区中央2-5-1
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日(5年)
選定方法	非公募
非公募理由	劇場法の要求を満たすべく、本市の文化振興の拠点施設を運営していくためには、長期継続的に市と一体となって文化施策を推進する役割を指定管理者が担う必要があるため。
管理運営費の財源	指定管理料及び利用料金収入

3 管理運営の成果・実績

(1) 成果指標に係る数値目標の達成状況

ア 市民会館

成果指標	数値目標※	R2年度実績	達成率※
① 施設利用者数（楽屋除く）	355,000人以上	94,767人	26.7%
② 使用件数（楽屋除く）	4,400件以上	1,454件	33.0%
③ 実演芸術の公演本数	24本以上 (月2本以上目安)	10本	41.7%
④ 施設稼働率（楽屋除く）	59%以上	25.53%	43.3%
⑤ 大ホール稼働率	平日 60(59)%以上 土日祝 78(76)%以上	平日 31.83% 土日祝 46.30%	平日 53.1% 土日祝 59.4%
⑥ 予防的修繕の未実施による施設利用不可能日数	年間0日	0日	100.0%

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

イ 文化センター

成果指標	数値目標※	R2年度実績	達成率※
① 使用件数（楽屋除く）	4,100件以上	1,897件	46.3%
② 文化振興の拠点施設としての使用件数（楽屋除く）	平成32年度10%増 (平成27年度比) 平成27年度983件	450件	41.6%
③ 施設稼働率（楽屋除く）	45%以上	26.16%	58.1%
④ ホール稼働率	平日 44%以上 土日祝 76%以上	平日 33.27% 土日祝 46.27%	平日 75.6% 土日祝 60.9%

※ ②数値目標は最終年度目標を平成27年度比10%増（平成27年度は983件）としており、それに対する達成率を算出している。

(2) その他利用状況を示す指標

指標	R2年度実績

4 収支状況

(1) 必須業務収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目	R2年度	【参考】 R元年度	計画実績差異・要因分析		
			差異	主な要因	
指定管理料	実績	420,584	377,111	実績－計画 57,582	利用料金減収分に対する増額変更
	計画	363,002	369,665	計画－提案 0	
	提案	363,002	376,673		
利用料金収入	実績	67,100	137,735	実績－計画 △ 89,364	新型コロナウイルス感染症の影響による減収 文化センター第5会議室増設による
	計画	156,464	151,419	計画－提案 1,742	
	提案	154,722	151,934		
その他収入	実績	1,888	11,543	実績－計画 △ 26,656	公演中止による利用料金等の減収 入場料設定見直しによる
	計画	28,544	26,828	計画－提案 △ 384	
	提案	28,928	28,228		
合計	実績	489,572	526,389	実績－計画 △ 58,438	
	計画	548,010	547,912	計画－提案 1,358	
	提案	546,652	556,835		

イ 支出

(単位：千円)

費目	R2年度	【参考】 R元年度	計画実績差異・要因分析		
			差異	主な要因	
人件費	実績	257,411	266,951	実績-計画 △ 7,724	給与改定・時間外手当の減額
	計画	265,135	265,049	計画-提案 △ 6,688	舞台職員の委託化による減額
	提案	271,823	280,051		
事務費	実績	64,229	80,035	実績-計画 △ 17,668	休館等による光熱水費の減額
	計画	81,897	82,016	計画-提案 △ 5,007	光熱水費の見直しによる減額
	提案	86,904	86,904		
管理費	実績	12,498	14,664	実績-計画 △ 2,591	休館等による下水道使用料の減額
	計画	15,089	15,121	計画-提案 1	
	提案	15,088	15,088		
委託費	実績	139,975	140,857	実績-計画 △ 5,175	契約差金・休館等による清掃委託費の減
	計画	145,150	144,079	計画-提案 13,459	舞台職員の委託増による増額
	提案	131,691	131,691		
その他事業費	実績	13,987	26,971	実績-計画 △ 18,102	企画提案業務の中止による公演料等の減
	計画	32,089	33,051	計画-提案 △ 407	鑑賞事業の公演料削減
	提案	32,496	34,451		
本社費・共通費	実績	7,085	7,470	実績-計画 △ 1,565	振込手数料の減、書面会議による旅費未執行等
	計画	8,650	8,596	計画-提案 0	
	提案	8,650	8,650		
合計	実績	495,185	536,948	実績-計画 △ 52,825	
	計画	548,010	547,912	計画-提案 1,358	
	提案	546,652	556,835		

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

【提案】	(市民会館) 11,849千円×33%=3,910千円	(文化センター) 11,849千円×40%=4,740千円
※算定根拠	平成28年度経常収益積算額に占める指定管理料及び利用料金等の合計金額の割合で按分した金額を算定根拠とした。	

(2) 自主事業収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目	R2年度	【参考】 R元年度
自主事業収入	実績 414	19,622
	実績 0	0
合計	実績 414	19,622

イ 支出

(単位：千円)

費目	R2年度	【参考】 R元年度
人件費	実績 5,069	6,546
事務費	実績 1,680	11,626
管理費	実績 0	0
委託費	実績 220	405
使用料	実績 412	411
事業費	実績 0	0
利用料金	実績 0	1,500
その他事業費	実績 0	0
本社費・共通費	実績 0	0
合計	実績 7,381	20,488

本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

--

(3) 収支状況

(単位：千円)

		R2年度	【参考】R元年度
必須業務	収入合計	489,572	526,389
	支出合計	495,185	536,948
	収支	△ 5,613	△ 10,559
自主事業	収入合計	414	19,622
	支出合計	7,381	20,488
	収支	△ 6,967	△ 866
総収入		489,986	546,011
総支出		502,566	557,436
収支		△ 12,580	△ 11,425
利益の還元額			
利益還元の内容			

5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績（成果指標の目標達成状況）

ア 市民会館

評価項目	市の評価	特記事項
施設利用者数（楽屋除く）	E	
使用件数（楽屋除く）	E	
実演芸術の公演本数	E	
施設稼働率（楽屋除く）	E	
大ホール稼働率	E	
予防的修繕の未実施による施設利用不可能日数	C	

イ 文化センター

評価項目	市の評価	特記事項
使用件数（楽屋除く）	E	
文化振興の拠点施設としての使用件数（楽屋除く）	E	
施設稼働率（楽屋除く）	E	
ホール稼働率	E	

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

A：成果指標が市設定の数値目標の120%以上（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。）

B：成果指標が市設定の数値目標の105%以上120%未満（ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。）

C：成果指標が市設定の数値目標の85%以上105%未満

D：成果指標が市設定の数値目標の60%以上85%未満

E：成果指標が市設定の数値目標の60%未満

(2) 市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	C	新型コロナウイルス感染症の影響による減収分に対する指定管理料の増額は除き、選定時の提案額と同額として評価

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

A：選定時の提案額から10%以上の削減

B：選定時の提案額から5%以上10%未満の削減

C：選定時の提案額と同額又は5%未満の削減

(D・E：選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし)

-：対象外（市の指定管理料支出がない。）

(3) 管理運営の履行状況

評価項目		自己評価	市の評価	特記事項
1 市民の平等利用の確保・施設の適正管理	市民の平等利用の確保	C	C	
	関係法令等の遵守			
	リスク管理・緊急時対応			
2 施設管理能力	(1) 人的組織体制の充実			
	管理運営の執行体制	C	C	
	必要な専門職員の配置			
	従業員の能力向上			
	(2) 施設の維持管理業務			
	施設の保守管理	C	C	
設備・備品の管理・清掃・警備等				
3 施設の効用の発揮	(1) 幅広い施設利用の確保			
	閉館時間・休館日	C	C	
	利用料金設定・減免			
	利用促進の方策			
	(2) 利用者サービスの充実			
	利用者への支援	C	C	
	利用者意見聴取・自己モニタリング			
	(3) 施設における事業の実施			
	施設の事業の効果的な実施	C	C	
自主事業の効果的な実施				
4 その他				
	市内業者の育成	C	C	
	市内雇用への配慮			
	障害者雇用の確保			
	施設職員の雇用の安定化への配慮			

【評価の内容】

- A：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
 B：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
 C：概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
 D：一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
 E：管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(4) 市民局指定管理者選定評価委員会意見を踏まえた対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
文化センターについて、文化振興の拠点として、子ども支援事業に取り組んでおり、良好な企画・運営をされている点が評価できる。	令和元年度	引き続き、子ども若者向けのイベント、ワークショップ等を開催し、文化芸術に身近に触れる機会を提供します。
文化センターの必須業務として、新型コロナウイルス感染症の影響で活動の場が減っているアーティストのサポートに取り組まれない。	令和元年度	アーティストバンク登録者に対し、国や市の支援情報を定期的にメール配信するほか、主催事業を含め、あらゆる機会を通じて出演機会を提供します。

6 利用者ニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

実施内容	調査方法	施設利用におけるアンケート調査 イベントにおける顧客満足度調査
	回答者数	市民会館 述ベ219件 文化センター 述ベ148件
	質問項目	事業報告書「6 アンケート結果報告」及び「顧客満足度調査結果」参照
結果	事業報告書「6 アンケート結果報告」及び「顧客満足度調査結果」参照	

(2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

主な意見・苦情	指定管理者の対応
洋式トイレを増やしてほしい (市民会館)	早急な増設・取替は困難であることを説明するとともに、利用可能な館内他の洋式トイレ等を案内しています。
イスがかたい (市民会館)	小ホールの落語公演のお客様の意見、座布団を設置する対応を行っています。「イスに座布団が設置されていてうれしい」との意見もありました。

7 総括

(1) 指定管理者による自己評価

総括評価	C	所見	<p>市民会館は、施設利用者数の達成率26.7%、使用件数の達成率33.0%、実演芸術公演の達成率41.7%、施設稼働率（楽屋除く）は43.3%、大ホール稼働率（平日）の達成率53.1%、大ホール稼働率（土日祝）の達成率59.4%であった。</p> <p>なお、予防修繕の未実施による利用不可能日数については、0日であった。</p> <p>文化センターは、使用件数の達成率46.3%、文化振興の拠点施設としての使用件数は目標の1,081件に対し450件で達成率41.6%、施設稼働率（楽屋除く）は58.1%、ホール稼働率（平日）の達成率75.6%、ホール稼働率（土日祝）の達成率60.9%であった。</p> <p>達成率が低いのは、市民会館、文化センター共に、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のための緊急事態宣言による休館並びに施設に利用制限がかけられたことが大きな要因である。</p> <p>指定管理者として、施設の利用取消の対応、及び非接触検温器や消毒液の設置等の感染症対策、感染拡大防止の呼びかけなど利用者に配慮した管理運営に努めた。</p>
------	---	----	---

(2) 市による評価

総括評価	C	所見	<p>概ね市が指定管理者に求める水準等に即した良好な管理運営が行われている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響による休館措置や利用制限のため、使用件数や稼働率の落ち込みにより、数値目標の達成はできなかったものの、感染症対策と清潔の保持に努めたことや、突発的な修繕への柔軟な対応等により老朽化した施設の保守に努め、来館者アンケートにおいて高い評価を得ている点は評価できる。</p> <p>引き続き、両施設ともに施設の適切な維持管理に努められたい。</p> <p>また、社会的状況の変化に留意しつつ、市民会館では実演芸術公演の提供や発表の場の提供の増加を図り、文化センターは市の文化振興の拠点施設として市民の文化芸術活動の支援のため、更なるサービスの向上を図られたい。</p>
------	---	----	--

【評価の内容】

- A：市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B：市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C：概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
- D：管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
- E：管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(3) 市民局指定管理者選定評価委員会の意見

<p>ア市の作成した年度評価案の妥当性について</p> <p>市の作成した年度評価案の内容は、妥当であると判断される。</p> <p>イ管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、改善を要する点等について</p> <p>(ア) 現在委託している舞台職員について、正規職員の人材確保に努められたい。</p> <p>(イ) 利用者アンケートは、回答者に目的を示して実施されたい。</p> <p>(ウ) 指定管理者の財務状況については、計算書類等の資料に基づいた判断であることを前提とするが、財務状況は良好であり、特段の問題はみられないことから、倒産・撤退のリスクはないと判断される。</p>
--